

一手一つの心で共に歩む 陽気ぐらしへの道



ひきよせ

発行所
天理教夕張大教会
〒068-0029 北海道
岩見沢市9条西6丁目21
☎ 0126-22-1248
FAX 0126-23-7275
yubaridai146@gmail.com
ホームページ
bariten.main.jp



LINE 友達登録
お願いします

青年会・女子青年 合同総会開催

去る2月19日、青年会・女子青年合同総会が開催された。
昨秋より計画を進めてきたが、1月からオミクロン株が急拡大した為、最小数の係員で実施することになった。一人でも欠けたら延期や中止という危機的状況だったが、欠員は出ず、無事開催に至った。

総会式では会議アプリ zoom を、お楽しみ行事では youtube 配信を観て参加をするオンライン形式での開催となった。把握出来ている参加者は総会式が、青年会員21名、OB5名、女子青年6名、行事全体で総勢47名。当日の様子は3ページに記載しています。

お知らせ

春の学生おぢばがえり 3月25〜29日
4月月次祭 4月15日 9時30分開扉献饌
教祖誕生祭 4月18日(月)
婦人会第104回総会 4月19日(火)

会長より皆様へ

青年会、女子青年合同オンライン総会の開催を応援して頂き心よりお礼申し上げます。親神様、おやさまも、可愛い子供達が心を通わせ合おうと努力する姿をご覧下さり、お勇み下さった事と存じます。未だにコロナが落ち着かない中ですが、短時間でも大教会に足を運んでくださる方々が徐々に増え、とても感謝しております。また、私自身も予防をしっかり行った上で、今年は皆様のお教会へ足を運ばせて頂きたいと存じます。先月会議で決まりました通り、今年例年三月の一斉巡教を延期し、四月より十一月までの期間を設けまして、大教会長巡教を行わせて頂きたいと思っております。それぞれの教会のご都合に合わせて、上級様を通してご提案頂いた日にちと時間に従い、「奉告祭のお礼」の参拝をさせて頂きたく存じます。かえってご迷惑をおかけする事が無いよう努力致しますので、どうぞ宜しくお願いします。

話は変わりますが、やはりこの度のウクライナの惨状に目を逸らす事は出来ず、己の無力を嘆いています。一人の暴君を止められない為に、今日も親神様の可愛い子供達の命の灯が消されて行く。UNHCRの難民支援に募金しましたが、そもそも家を奪い家族を奪う行為が人として許されない事なのです。余りにも一方的な暴力に人生を奪われて行くウクライナの子供達。逆らえず言われるがままに駆り出されるロシアの若者達。どちらも親神様の大切な子供達です。親神様は「心の自由」を私達人間に与えて下さいました。それは人間全てが例えば自動的に生活し、個性を持たない機械のような存在であれば、親神様にとっては誠に淋しく味気なかったからです。自由な心で善悪を理解し、良い道を自分達で選び、世界中の子供達が助け合って生きて欲しいのです。私達は苦しめ合うためではなく、陽気暮らしをするために生まれて来たのです。今こそ強く平和を願い、苦しむ両国民が温かな食事を迎えられる日が来る事を望みます。

二月月次祭の様

立春を迎え、日中陽射しが見えると、遠くに春を感じる温かさになってきたが、札幌を中心とした道央圏では記録的な豪雪、各種交通機関がストップし、除雪が間に合わず大渋滞が起こるなどの状況となっていた。

また、オミクロン株の猛威により、まん延防止等重点措置が施行され、未だ緊張感の解けない日々が続いていた。

迎えた15日の祭典日、定刻9時半より開扉献饌。祭儀式のち祭文奏上。その後、座りづとめ・十二下りのてをどりが勤められた。冬の寒さ厳しい中にも感染対策の為換気が行われ、冷たい風が殿内に時折吹き込んだが、勇んだ表情でおつとめに臨んでいた。

講話には千葉真理・北弘分教会長が立ち「就任当初、当時の大教会長さんから『教会長になったら、何かチャレンジをしてみなさい』と言われました。色々試行錯誤し、昨年からは動画制作の仕事を始めました。仕事を通じた人との関わりの中で、お道の『にをい』を伝えられたら、との思いからでした。渡部辰大くん、藤田豊さん、岩佐善昭さ

んと、部内の仲間にも声を掛け、四人でやってみる事になりました。

初めに、とりあえず知り合いの店に声を掛けて、紹介動画を無料で作らせてもらいました。お店の方から『皆さんはどういった集まりなんですか』と聞かれるので『実は天理教の...』といった感じに、にをいがけまではいかずとも、天理教の紹介というような事を話す事が出来ました。

無料で3本の動画を制作すると、その動画を見た水産加工会社から、ホームページとPR動画の制作を頼まれました。打ち合わせの中で、社長からどんな集まりなのか、と聞かれたので『天理教の教会で...』と答えると、社長は他宗教の信者の方だったのですが、『若い人達が熱心で素晴らしい』とほめて下さり、無事に仕事を完了する事が出来ました。現在でも少しずつ仕事の依頼が来るようになっており、この仕事を通して少しでもお道のにをいを伝えられるように、これからも頑張っていきたいです。

昨年からは、夫婦として不妊治療に取り組んでいます。長男を授かった時にも不妊治療をしておりました。長男を授かる前



私は子どもを授からない事に焦りを感じ、自分には何が足りないので、と自分を責めてばかりいました。大教会祭典日の朝、事務所まで着替えている時に『どうして僕には子どもが授からないんでしょうか』とこぼしてしまいました。その場にいた先生達は思い思いに励まして下さいました。梶川創一郎先生は、『十年、二十年先の年祭に活躍出来る子どもをどうかお与え頂きたい、と一生懸命通っていただければ必ず授かる』と言って下さいました。その後、有難くも長男・斗理が誕生しました。

長男誕生より3年後、一度流産を経験しました。その後も長男に続く子を教会にお与え頂きたい、と願っていました。昨年の年初より再びの不妊治療に取り組んでいましたが、妊娠の兆候なく、気が付くと六代会長就任奉告祭が間近の時期となっていました。夫婦で話し合い『奉

告祭に向けて、しっかりと心を作らせて頂かなければならない』と二人で心を定め、そして不妊治療を終了する事にしました。奉告祭記念の動画の編集等、自分の任された御用に専念し、無事に奉告祭を務め終える事が出来ました。

奉告祭からひと月経った10月、奥さんが妊娠している事が分かりました。心を定めて務めた奉告祭が終わってすぐの事、神様のなさる事は本当に有難い、と夫婦とも感激し、親神様教祖に感謝しました。前回の流産の時、妊娠が分かって嬉しさのあまり、互いの両親に報告をしました。その後流産した事もあって、今回の報告は慎重になって、10月の団参から帰った直後の検査を待つて、両親に知らせよう、と妊娠の事を伝えずにおちばへ帰りました。

24日に両親と共におちばへ到着、喜びいっぱい本部にて参拝しましたが、その日の夜、奥さんが出血しました。この時初めて両親に妊娠の事を伝え、母は懸命におさづけを取り次いでくれました。すぐに憩いの家で診察してもらおうと、医者は『そのまま流れてしまうかどうか半々だろう』と言いました。病

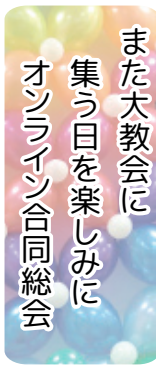
院から奥さんの両親にも連絡しましたが、どちらの両親も『おちばで見せて頂いたことだから、絶対に助けて頂ける。ただただ神様にもたれて通りなさい』と言いました。大変な中、少しも違わない親が掛けてくれる言葉に、夫婦共々この信仰の有難さを改めて感じました。

25日、26日と奥さんは外に出る事も叶わず、私は付き添いをしていました。その間もお腹の子は少しずつ流れ、私はどうかすつきりご守護頂きたい、と思うようになっていました。その時教養掛だった藤田亮平君が『一緒にひのきしんをしよう』と声を掛けてくれ、二人で風呂掃除をする事にしました。掃除の最中、亮平君が『おさづけを取り次がせてもらいたい』と言ってくれたので、すぐにお願いをし、亮平君は奥さんにおさづけを取り次いでくれました。すると、直後にすぐお腹の子どもは綺麗に流れていきました。実は一度目の流産も教祖御誕生祭の団参中でして、二度も子どもを親里でお返しした、というなかなかない経験をしました。

この事を通して私達夫婦が感じたのは、これは私達夫婦にとつての台、今後しなければなら



当日は13時30分より大橋菜月(由仁)さんの開会宣言にはじまり、先ずは、ウイルス収束のお願いとためを、岩佐善昭前副委員長の拍子木に合わせ、参加者もそれぞれの自宅等でつとめた。次に、青年会長・中山大亮様のメッセージ動画を拝聴し、ご用先からオンラインで参加していた大教会長様から祝辞を頂戴



いおたすけの為の大事な台などではないか、という事です。これからはより一層神様にもたれて通り、また改めて子どもをお与え頂けたら、と思い過ぎています」と話した。

大教会長は挨拶で「親神様に勇んで頂ければ、きつとどんな事でもしてくださる。望んだ通りではないかもしれないが、話の台になり、かけがえのない経験をさせて下さる。そのように教えて頂いています。教祖もまたひながたで様々にお示し下さ

れている。子どもが困った時辛い時には、をやが踏ん張る、と仰せであります。この有難い親心にもたれて通るのが大事な事だと思えます」と話された。また、教祖百四十年祭に向けた本部の動きとして、教会長夫妻特別講習会の開催を紹介された。

その後、藤崎勇青年会委員長が前月に続いて登場し、19日に控えた青年会女子青年合同総会の参加と視聴を、参拝者に重ねてお願いした。

次いで、竹田元副委員長の声に続いてあらきとよりよう指針唱和、高橋都志子・女子青年委員長、藤崎勇・青年会委員長がそれぞれ挨拶をし、四社礼拝、田端敦則(祝梅)さんが閉会宣言をして記念撮影後、一度お楽しみ行事まで休憩となった。(15分程)

お楽しみ行事では、スマホゲームと競馬中継をミックスした内容で、【ウマ娘、夕張ダービー】と第し、全3レースの会員たちを出走馬に見立てた予想、抽選

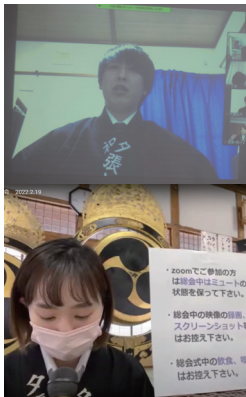


ゲームを行った。

各レース前にはパドック映像(出走馬紹介)が流され、出走馬達が意気込みを述べた。その後視聴者達はYoutubeのコメント欄などを利用し予想をした。

第1レースは、可愛らしい女子青年6人が、リッツ5枚の早食いで競い、第2レースでは青年会員5人が出されたお題を家の中から探し、続いて出されたお題の絵を描いてゴールを目指した。3レース目には現青年会中心世代の昭和59年生まれのウマ男達がプッシュアップ(腕立て伏せ)40回とシンプルな筋力勝負で勝敗を決した。各レース各出走馬らしき溢れる戦いとなり、予想者達を楽しませた。また豪華景品が予想的中の中から抽選、各1名の方に贈られた。

ワクワク感の高まるオープニングアニメーション動画にはじまり、司会、実況、解説者の息の合った掛け合い、素晴らしいパドック、レース動画、カメラワーク、スタジオセット等もよく凝らされていて、大盛り上がり



の総会行事となった。

女子青年の皆さんと楽しくお話ができ、先生方のお話で沢山の事を学べました。

ありがとうございます。

富山知理・朱理(栗山)

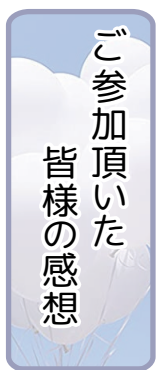
女子青年での初の交流も出来先生方のありがたいお話も聞けてとても楽しませて頂きました。ありがとうございます。

久しぶりに皆さんとZoomを通して会うことができ嬉しかったです。クラッカーの早食いゲームが面白かったです。私達のために沢山準備をしてくれた皆さんに感謝しています。本当にありがとうございました。

大橋菜月(由仁)

コロナ禍でなかなか顔を合わせる機会が無い中、青年会、女子青年の皆さんと関わりを持つたことに感謝したいと思います。大教会に参拝に行けない日々が続いていますが、心だけは教会や会員さんたちと繋がっていたと強く感じる総会となりました。ありがとうございました。

藤崎勝(旭都)



今回2回目のオンライン総会に参加して、私はやはり人間は柔軟に物事が運べるようになっていんだなと感じました。

総会という1つの目標に向かって、大教会で行うことが一番ですが、その他のやり方でもお道に向けるという方法は今のご時世では1番の手段だと感じました。

いつかまた、普通にみんなと顔を合わせられるように、普通じゃない今だからこそ今は今で味わって、次に大教会で開催される日には万倍の喜びで開催出来るように今を胆嚢しようと思えます。

松下 真(神富)

4ページ 下段に続く

第2回 少年会夕張団 雪だるまコンテスト

たくさんのご応募ありがとうございました。神様から
おかりしている身体をつかって元気いっぱい、
すばらしい作品を作ってくれました！
それぞれの個性があって素晴らしいですね



ゆうひちゃん ゆうじんくん
ゆうごくん (大龍)

あやめちゃん
きょうすけくん (清真布)



かずよしくん はるちゃん
わかぼちゃん いちようくん (幌都)



えみちゃん (旭都)



はつのちゃん へいわくん
ゆうだいくん (夕張)



高校生活を終えて
栗山富山優理

私は今年、天理高校を無事に卒業させて頂くことが出来ました。入学したての頃は初めての寮生活や、地元を離れての学校

生活に不安や緊張で毎日、家に帰りたい、家族に会いたいのと思う日々を過ごしました。そしてその時気づいたのです。私はいつも、家族や友人、その他の自分が出会って来た人達に支えられて生きてきたのだと。
まず、寮に入寮して気づいたことはいつも家で気にも留めなかったご飯が作ってあること、洗濯が洗われ干されていること、お風呂が沸いていることなど自分が今までしてこなかったことはすべて親にしてもらっていて、

甘えて生きてきたと気付かされると共に親への感謝の気持ちが湧いてきました。
また、2年生になるちょっと前からコロナウイルスが流行し、前まで出来ていた外出や、友人との会話、接触が制限されました。ここで、当たり前なこと何一つないのだと悟らせていただくことが出来ました。色々な経験をさせてくれた天理高校に感謝しています。
これからは、立派なようばくを目指し、勇んで通りたいです！

3ページの総会感想続き

長い期間準備を重ねたことが十二分に伝わるクオリティーの高い総会で、感激しました！お疲れ様でした。

藤城昭太郎 (志加ノ谷)

青年会・女子青年オンライン合同総会とお楽しみ行事大変お疲れ様でした。

次回は息子、娘にも参加させたいと思います。

伊藤伸之 (祝梅)

庶務部 2月

▽おさづけの理拝戴

渡部 孝徳 (善進道) 2・23

▽詰所教養掛

3、4月 松下勝彦 (神富)

- 1日 たすけ推進会議
11日 前会長、旭川方面講社祭
14日 月次祭準備
15日 月次祭
18日 前会長、札美分へ
19日 会長夫妻、札美分参拝
青年会女子青年
合同オンライン総会
23日 会長、おちばへ
24日 会長、本部神殿当番
26日 本部月次祭
28日 遥拝式
29日 会長、かなめ会
30日 会長、帰会

大教会日誌抄 2月



とても楽しく拝見させて頂きました。司会の皆さんはプロですね！ユウバリダービー、コメントも楽しく盛り上げ上手でした！
動画作成にあたり関係者の皆さん、本当にお疲れ様でした。
梶川さとみ (新生)